

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	敬老祝金支給事業		基本目標	高齢者の生きがいづくり支援			
担当課(局)・係	健康福祉課	介護高齢者福祉係	記入者	浜野智子	評価者	井上敏郎	開始年度 H12 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	高齢者に敬老祝金を支給										
	意図・目的	高齢者の長寿祝福と敬老思想の高揚										
事業の内容	9/15現在、80歳・90歳・100歳・101歳以上の高齢者で支給基準を満たす対象者への敬老祝金の支給											
主な支出項目	22年度決算額	3,760	千円	23年度予算額	3,980	千円	事業従事者数	H22 0.03	人	H23 0.03	人	
	報償費	3,760	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	201			千円	
			千円	県支出金		千円	23年度人件費	200			千円	
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		100.0	%		
			千円	一般財源	3,980	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
		千円			千円	高鍋町敬老祝金条例施行規則						
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名								
	補助交付団体			補助金要綱								
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額		円	終期		年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等							
		補助の割合	#N/A	%								
繰越額		#N/A	円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか									
	1 支給対象者数(人)	80歳:191人 90歳:79人 100歳:3人 100歳以上:4名 合計:277人									
	2 支給対象額	3,760千円									
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に									
	1 表敬訪問	100歳以上の長寿者に対し、町長による表敬訪問をし、祝金を支給した。									
	2										
	3										

◎達成状況

指標名	単位	21年度			22年度			23年度		
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
成果指標	支給対象者数(人)	目標値	296		296		300			
		実績値	265		277					
		達成率	89.5%		93.6%					
	支給対象額	目標値	3,880,000		3,880,000		3,980,000			
		実績値	3,320,000		3,760,000					
		達成率	85.6%		96.9%					
活動指標	表敬訪問	目標値	10		10		10			
		実績値	5		7					
		達成率	50.0%		70.0%					
	0	目標値								
		実績値								
		達成率	#DIV/0!		#DIV/0!					
0	目標値									
	実績値									
	達成率	#DIV/0!		#DIV/0!						

事務事業名	敬老祝金支給事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	----------	--------	-------

◎事務事業の評価

		評価する項目	点数	
			自己評価	委員評価
(必要性)	100歳、105歳、110歳到達者には別途、県、国から祝状、記念品があるが、高齢者の長寿祝福は、他課、他団体では困難である。事業廃止及び縮小は、目標としてしている対象者の長寿に対する意識が低下する恐れがある。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
		◎事業廃止による影響があるのか	1	-
有効性	長寿の目標にしている対象者も多く、敬老週間に併せて支給しているため、長寿祝福に関するイベントを実施し、地域住民との交流を図っている自治公民館も多い。	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
		◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	敬老週間だけに限らず、高齢者と地域住民との交流の機会が広がる可能性がある。経費や時間の削減対象とは考えにくい。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	-
		◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性	申請、支給は安否確認等を兼ね、民営委員に依頼している。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	2	-
合計(最高18点)			14	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益平性)		◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
		◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)			0	-
その他				

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	高齢者の長寿は率直に祝福すべきであるが、平成20年度の全国平均寿命が男79.29歳、女86.05歳となったいま、80歳を支給対象とするか否かを考える必要がある。(ただし、本事業はきわめて政策的要素を含んでいる。)	今後の方向性			
			拡充	現状維持	縮小	廃止
				○		
			コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	縮小	◎支給金額等は検討の余地があるのではないか。 ◎郡内の状況等も調査をして、今後の在り方を検討してほしい。 ◎昨年多発した高齢者の生存未確認騒動を考えると、支給対象者の把握ができるので高齢者の生存確認の手段としても必要である。 ◎今後、全国男女の平均寿命も動向するか、喜寿・米寿等に補助金を出すような方向に検討してはどうか。 ◎これまで支給されており見直し・廃止は難しいのではないか。 ◎個別に支給するのではなく対象者を集めて支給するなど、町民全体に意識付けをする方法や事業全体の検討が必要である。
	コスト	縮小	
	委員評価	-	
	外部評価	-	